

薬剤性過敏症症候群（DIHS）診療ガイドライン作成のための疫学調査

1. 研究の対象

2017年1月～2019年12月に当院で薬剤性過敏症症候群（DIHS）と診断された方

2. 研究目的・方法

薬剤性過敏症症候群（DIHS）は重症薬疹の一つで、その実態調査を目的とします。

尚、この研究は、厚生労働省 難治性疾患政策研究事業 重症多形滲出性紅斑に関する調査研究班によるプロジェクトの一つです。

研究期間：倫理委員会承認後～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原疾患、合併症、既往歴、被疑薬及び投与期間、
臨床症状（症状出現日、発熱、皮疹の性状・面積）、検査所見、
自己免疫疾患、後遺症 など

4. 外部への試料・情報の提供

代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関

杏林大学医学部皮膚科
臨床教授 水川 良子

研究協力機関

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医主研究施設をあわせた全国 654 施設のうち、
DIHS 症例があった施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 4

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

川崎市立川崎病院 皮膚科

新川 紗由香

住所：川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521 (代)

-----以上